

地域ブランド化

新たな「地域ブランド」構築に向け、町のやる気は

貴重な「素材」をPRしていく



松葉幸雄 議員

質問

昨今さまざまな要因から多くの自治体が財政難に直面し、新たな「地域ブランド化」に努力している。特産物をつくるだけでなく、「住んでいただけるまち」をコンセプトに行政が先導役となり、活性化を図る意味からも一朝一夕というわけにはいかないが、新たな一歩を

答弁

踏み出していただきたい。
産業観光課長
当町には各地に良好な自然が点在し、そこには貴重な「素材」が多くあり、それらに付加価値をつけ、PRしていくこともポイントと考えています。

質問

当町の歴史、食、町並みなど地域ブランド資産の評価はどうか。

答弁

産業観光課長
個々の特徴を総合的に見たとき、努力次第では新たな可能性はある採点評価になると思います。

質問

首長主導や民間主導でも、新たな成功例を見ると多くの分野から人材が集まり、検討会を立ち上げ、集中した話し合いが必須条件のようだが。

答弁

町長 村上
市、小布施町をはじめ、民間が中心となった成功例が多いと思いますが、有識者を交えた検討会等の立ち上げもやぶさかではないと考えています。



蔵の見える裏どおり



工事中の栃本親水公園

質問

槻川の馬橋から日の出橋上流までの遊歩道が完成して、現在（仮称）栃本親水公園が町施工で始まった。完成すると遊歩道とあわせて、小京都おがわにふさわしい公園となる。

答弁

建設課長 栃本親水公園は、平成24年度完成を

質問

遊歩道のコースとして、相生橋・日の出橋が案内されているが、たびたび車同士で接触事故があり、歩行に危険があ

答弁

建設課長 橋りょうの調査・点検結果により「橋りょうの長寿命化計画」を策定し、総合的な整備計画を進めていきます。

その他の質問

- ◎町税の収納率のアップについて
- ◎ホンダ小川工場関連について
- ◎町の高齢化と医療費の抑制対策について

学校対策

今後単級となる中学校の対策は

しっかりとした教育ができれば、統合の必要はない

質問

小川東中と上野台中の統合後は、それを決断した理由は解決することができたのか。そして、4年後には各学年1クラスとなる樺台中はこのままでもいいのか。さらに、樺台中や西中の現状と今後の状況を保護者・生徒・地域の方々に伝えたいのか。

西中から分離した樺台中は、ひばりが丘団地を想定して各学年5クラスの15クラス体制で15年前に開校した。平成28年には、完全単級で空き教室は12となり、町財政の厳しい現



戸口 勝 議員

答弁

町長 新生東中は、部活動の充実・交流の機会の増加・クラスがえ・学校行事が活発になるなど、統合によって問題の解決がされました。将来1クラスになり、学級数が減るからという、その1点の考え方

を持つて統合を考えるべきではなく、大きい規模の学校から小さい所への統合は、考えられません。今後1クラスになるからといって、親や子ども、地域から要望や声がない限りアンケート等は実施しません。ただ、西中学校の改築の最終な方針が決まってから伝えることはありますが、決まる前に話を聞くことはありません。

平成 24 年～ 30 年までの生徒数の推移予測 ()内はクラス数

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
樺台中学校							
1年	51(2)	45(2)	34(1)	37(1)	35(1)	35(1)	23(1)
2年	47(2)	51(2)	45(2)	34(1)	37(1)	35(1)	35(1)
3年	61(2)	47(2)	51(2)	45(2)	34(1)	37(1)	35(1)
合計	159	143	130	116	106	107	93
小川西中学校							
1年	54(2)	64(2)	62(2)	52(2)	65(2)	59(2)	60(2)
2年	60(2)	54(2)	64(2)	62(2)	52(2)	65(2)	59(2)
3年	75(2)	60(2)	54(2)	64(2)	62(2)	52(2)	65(2)
合計	189	178	180	178	179	176	184
小川東中学校							
1年	145(4)	142(4)	39(4)	112(3)	131(4)	120(3)	113(3)
2年	124(4)	145(4)	42(4)	139(4)	112(3)	131(4)	120(3)
3年	142(4)	124(4)	45(4)	142(4)	139(4)	112(3)	131(4)
合計	411	411	426	393	382	363	364

(戸口議員試算)